

平成29年度(平成29年4月入学者用)工学部第3年次編入学試験

募集要項の請求方法について

※平成30年度(平成30年4月入学者用)の募集要項は平成28年11月頃公開予定です。

1. テレメールによる請求

(1)電話での請求

050-8601-0101 にかけて、資料番号 582311 をプッシュして、後はガイダンスに従って請求してください。

(2)Web からの請求

本学ホームページ→入試情報→編入学－入試情報－→入試関係資料請求→工学部編入学学生募集要項の請求方法のページから、テレメールでの請求を行ってください。

(URL: http://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_hennyu/seikyu/kougakubu/index.html)

2. 窓口での請求(※窓口受付時間は下記)

東京農工大学工学部入学試験係の窓口(小金井キャンパス中央棟1階)にお越し頂ければ、直接配布いたします。

3. 郵送による請求

180円切手を貼った返信用封筒(角形2号)に送付先(郵便番号、住所、氏名)および「ゆうメール」と記入のうえ、請求用封筒に入れて下記住所まで送付してください。請求用封筒には必ず「平成29年度工学部第3年次編入学試験募集要項請求」と記載してください。ゆうメールによる返信の際、封筒の一部を開封したまま送付しますので、ご了承願います。

4. 注意

(1)この PDF を印刷して出願することはできません。必ず上記方法により募集要項を入手してから出願してください。

(2)テレメール・郵送にて請求される場合は、発送に時間がかかることがありますので、余裕を持って請求してください。

5. ご請求およびお問い合わせ先

〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16

東京農工大学工学部入学試験係(小金井キャンパス中央棟1階) Tel:042-388-7014

(土日・祝日・休業日を除く 8:30～12:00,13:00～17:15)

平成 29 年度

東京農工大学工学部

第 3 年次編入学

学生募集要項

推 薦 入 試

学 力 検 査 入 試

社 会 人 特 別 入 試

東京農工大学工学部

目 次

工学部のアドミッションポリシー	1	
1. 学生募集の趣旨	1	
2. 募集人員および募集学科	1	
(1) 募集人員	1	
(2) 募集学科およびコースの概要	2	
3. 推薦入試	3	
(1) 募集人員	3	
(2) 選抜の趣旨	3	
(3) 出願資格者	3	
(4) 出願対象学科	4	
(5) 出願手続	4	
(6) 出願期間	5	
(7) 選抜方法	5	
(8) 学力検査免除者（推薦入試内定者）の発表	6	
(9) 入学確約書の提出	6	
(10) 合格者発表	6	
(11) 推薦入試に不合格となった場合	6	
(12) 編入学後の履修および修業年限について	6	
4. 学力検査入試	7	
(1) 募集人員	7	
(2) 出願資格者	8	
(3) 出願対象学科	8	
(4) 出願手続	9	
(5) 出願期間	10	
(6) 選抜方法	10	
(7) 試験日時	11	
(8) 試験場所	11	
(9) 合格者発表	11	
(10) 編入学後の履修および修業年限について	12	
5. 社会人特別入試	13	
(1) 募集人員	13	
(2) 出願資格者	13	
(3) 出願手続	14	
(4) 出願期間	15	
(5) 選抜方法	15	
(6) 試験日時	16	
(7) 試験場所	16	
(8) 合格者発表	16	
(9) 編入学後の履修および修業年限について	16	
6. 入学手続	17	
(1) 手続期日	17	
(2) 手続場所	17	
(3) 納付金の納入	17	
7. 試験についての照会先	17	
8. 所在地	18	
東京農工大学大学院工学府および生物システム応用科学府について	19	
志願票等記入の注意事項および記入例	20	
添付書類		
受験票・写真票・志願票	第3年次編入学推薦書	調査書
志願理由書（社会人特別入試）	入学検定料納付確認票	入学検定料払込用紙
あて名票	封筒（長3・返信用）	封筒（角2・願書提出用）

平成29年度 東京農工大学工学部 第3年次編入学 学生募集要項

工学部のアドミッションポリシー（入学者受入方針）

工学分野の科学技術に関する基礎的科目を系統的に教育するとともに、学科の特質に応じた、専門教育を実施することにより、広い視野と専門知識を持った多様な優れた人材を養成することを目的とする。各学科が対象とする様々な課題に果敢に挑戦する意欲を持ち、それぞれの専門教育で求められている基礎的な学力を有する、次の人材を求める。

1. 大自然の真理に対する探求心とモノ作りマインドを持ち、工学分野の科学技術に関心があり、身に付けた知識を持続可能な社会の実現に役立てたいという意欲を持つ者。
2. 人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察し、自分の考えをまとめることができ、日本語で他者にわかりやすく表現できる者。
3. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、課題を解くことができ、理数系科目や英語科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している者。

1. 学生募集の趣旨

東京農工大学工学部では、近年の社会および産業構造の変化に伴い、広く社会への門戸を開くことを目的として、本学部の専門教育を履修する機会を提供する編入学制度を設けています。詳細は、それぞれの入試の頁をご覧ください。

- (1) 高等専門学校卒業見込者（⇒3.推薦入学または4.学力検査入試）
- (2) 高等専門学校の既卒者、学士号既得者、大学に一定期間以上在学した者、短期大学の卒業見込者および既卒者、専修学校の専門課程の修了見込者および修了者（⇒4.学力検査入試）
- (3) 社会人として1年以上の経験を有する者（⇒5.社会人特別入試）

2. 募集人員及び募集学科

(1) 募集人員

学 部	学 科 名	編入学定員	募 集 コ ー ス 名	募集人員
工 学 部	生 命 工 学 科	11人	—	11人
	応 用 分 子 化 学 科	5人	—	5人
	有 機 材 料 化 学 科	5人	—	5人
	化学システム工学科	5人	—	5人
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	16人	航空宇宙エネルギーコース	16人
			車両制御ロボットコース	
	電 気 電 子 工 学 科	20人	システムエレクトロニクスコース	20人
電子情報通信工学コース				
情 報 工 学 科	8人	—	8人	
計		※ 70人	計	70人

※ 編入学定員70人の中に、推薦入試、学力検査入試、社会人特別入試を含む

(2) 募集学科およびコースの概要

募集学科	募集コース	概 要
生 命 工 学 科	—	<p>(生体機能工学コース) 細胞機能工学, 生命分子情報科学, 生体分子構造学, 細胞分子工学, 植物情報工学, ナノ生命工学, バイオビジネス等の分野で, 生物機能を分子あるいは細胞レベルから体系的に理解し, 工学的に展開・応用する総合技術としての生命工学を担う技術者・研究者を育成する。</p> <p>(応用生物学コース) 生命分子工学, 生体電子工学, 分子生命化学, 海洋生命工学, 生命有機化学, 生体分子プロテオーム等の分野で, 生物材料を分子あるいは細胞レベルから体系的に理解し, 工学的に展開・応用する総合技術としての生命工学を担う技術者・研究者を育成する。</p>
応用分子化学科	—	<p>応用化学の幅広い分野を対象として教育を行う。新半導体, エネルギー化学, セラミックス超伝導体, 新機能物質や生理活性物質の合成, 高機能性触媒, 生体関連, エレクトロニクス, 環境における化学等応用化学の最先端分野で活躍できる人材を育成する。</p>
有機材料化学科	—	<p>高分子を中心として機能性物質全般に関する教育を行う。現在用いられている高分子の他, 電気を通したり, 蛍光を出すプラスチックや微生物分解できるプラスチックなどの合成や加工方法など先端材料までの教育と研究を行い, これらの分野で活躍できる人材を育成する。</p>
化学システム科	—	<p>物質生産, エネルギー, 環境に関わる化学工学の教育を行う。地球, 環境, エネルギー, 新素材, 生命, 情報, 社会システムといった現代の重要な各分野と関わりながら, ミクロからマクロまでの視点で新しい化学システムを創造できる, 持続可能な社会を支えるグローバルな化学技術者を育成する。</p>
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	航空宇宙エネルギー	<p>現代社会では, 機械システム工学がかかわる領域は多岐にわたり, かつそれらが高度化している。そこで, 社会で必要とされる専門性を考慮し, かつ各自の興味, 学習意欲に十分こたえられるように, 機械システム工学の諸分野を, 「航空宇宙エネルギーコース」と「車両制御ロボットコース」に分けて専門教育を行う。編入学時にコース分けを行い, 各コースを特徴づけるカリキュラムに基づいた学習を通して, 高度な専門知識を身につけた人材を育成する。</p>
	車両制御ロボット	
電 気 電 子 工 学 科	システムエレクトロニクスコース	<p>新しい電子材料や電子デバイスの開発, 環境に優しい太陽光発電, 光通信やディスプレイなどの光エレクトロニクスに関する教育研究を行い, これら最先端の研究を通じて技術の習得を図り, 将来の電気電子システム分野の牽引者となる技術者, 研究者の育成を行う。</p>
	電子情報通信工学	<p>携帯電話などの情報通信システム, コンピュータを用いた高次信号処理技術などに関する教育研究を行い, これら最先端の研究を通じて技術の習得を図り, ハード・ソフト両面から将来の電子情報通信工学の牽引者となる人材を育成する。</p>
情 報 工 学 科	—	<p>コンピュータ・サイエンスのしっかりした基礎のもとに, IT, ロボット, バーチャルリアリティ, 画像処理, ヒューマンインタフェース, パターン認識, ネットワーク, インターネット, 並列計算, プログラミング言語, オペレーティングシステムなどのシステムソフトウェア, コンピュータアーキテクチャ, アルゴリズム, 人工知能, データベース, 情報数学など先進的な学問を徹底的に教育し, 将来の情報産業の中核となるような高度な専門的人材を育成する。</p>

3. 推薦入試

(1) 募集人員

学 部	学 科 名	募 集 コ ー ス 名	募 集 人 員
工 学 部	生 命 工 学 科	—	4人程度
	応 用 分 子 化 学 科	—	2人程度
	有 機 材 料 化 学 科	—	2人程度
	化 学 シ ス テ ム 工 学 科	—	2人程度
工 学 部	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	航 空 宇 宙 エ ネ ル ギ ー コ ー ス	8人程度
		車 両 制 御 ロ ボ ッ ト コ ー ス	
	電 気 電 子 工 学 科	シ ス テ ム エ レ ク ト ロ ニ ク ス コ ー ス	9人程度
		電 子 情 報 通 信 工 学 コ ー ス	
情 報 工 学 科	—	3人程度	
計			30人程度

(注意) 機械システム工学科、電気電子工学科にあっては、同学科の第2志望コースを認めます。
(志望学科については、全学科第1志望以外認めません。)

(2) 選抜の趣旨

高等専門学校において人物、学力ともに優秀で、かつ志望学科の学問領域を専攻する意志が強く、学校長が責任をもって推薦できる者について選考し、合格と認めた者には、学力検査を免除します。

(3) 出願資格者 次の①、②に該当する者

- ① 高等専門学校を平成29年3月卒業見込で、出身学校長が人物、学力ともに優れていると認めた者。
- ② 各学年の学科現員に対する成績の席次割合(%)を算出し、それら1学年から4学年までの席次割合(%)の平均が上位20%以内の者。

なお、席次を定めていない高等専門学校からの推薦および高等学校からの編入により②の評価のできない者の推薦は受け付けません。ただし、高等専門学校の3年次に編入した外国人留学生については、出身学校長が上記の推薦入学出願資格者と同等以上の学力があると認めて、特に推薦する場合はこの限りではありません。

また、席次割合(%)の端数処理により出願資格の有無が不明確な場合は、入学試験係までお問い合わせ下さい。

(4) 出願対象学科

募 集 学 科	募 集 コ ー ス	出願できる出身学科
生 命 工 学 科	—	工業化学科, 物質工学科, 生物工学科およびこれらの関連学科
応 用 分 子 化 学 科	—	工業化学科, 化学工学科, 物質工学科およびこれらの関連学科
有 機 材 料 化 学 科	—	工業化学科, 化学工学科, 物質工学科およびこれらの関連学科
化学システム工学科	—	工業化学科, 化学工学科, 物質工学科およびこれらの関連学科
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	航空宇宙エネルギーコース	機械工学科および関連学科
	車両制御ロボットコース	
電 気 電 子 工 学 科	システムエレクトロニクスコース	電気工学科, 電子工学科, 情報工学科およびこれらの関連学科
	電子情報通信工学コース	
情 報 工 学 科	—	情報工学科, 電気工学科, 電子工学科およびこれらの関連学科

(5) 出願手続

本学所定の封筒により, 下記出願書類を書留速達で郵送してください。

① 提出先

東京農工大学小金井地区事務部学生支援室入学試験係

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

② 出願書類

入 学 志 願 票	(本学所定様式) 【注】外国人志願者は, 志願票の右下欄に記載されている, 国費奨学金支給期間延長申請予定の有無について○印でご回答ください。
写 真 票	(本学所定様式) 無帽, 上半身, たて40mm, よこ30mmで出願日前3か月以内に撮影したものを貼り付けてください。
受 験 票	(本学所定様式)
推 薦 書	(本学所定様式)
調 査 書	(本学所定様式) 封緘の上必ず成績証明書を貼り付けてください。 【注】外国人志願者は, 調査書に記載されている, 国費奨学金支給期間延長申請予定の有無について○印でご回答ください。
入学検定料納付確認票	(本学所定様式) 振替払込受付証明書を貼り付けてください。
検 定 料	30,000円 本学所定の入学検定料払込用紙でゆうちょ銀行または郵便局に払込みのうえ, 受付局日附印を押した「振替払込受付証明書」を受け取り, 「入学検定料納付確認票」の所定位置に貼り付けてください。なお, 「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。改めて本学から受領証書は発行いたしませんので, 大切に保管してください。 ※「振替払込受付証明書」の受付局日附印の押印で入学検定料納付を確認しますので, 入学検定料の納付はゆうちょ銀行または郵便局の受付窓口での払込に限ります。(ATMは使用不可) 【注】出願時点で, 奨学金支給期間の延長申請を予定している, 文部科学省国費外国人留学生は, 延長が許可されましたら, 検定料を返還しますので, 出願の際は検定料の納付をお願いいたします。許可されましたら入学試験係 (tel: 042-388-7014) までご連絡ください。
返 信 用 封 筒	(本学所定様式) 郵便番号・住所・氏名を記入し, 郵便切手362円(速達分)を貼り付けてください。
あ て 名 票	(本学所定様式) 郵便番号・住所・氏名を記入してください。
そ の 他	外国人志願者にあつては, 住民票の写し(国籍等, 在留資格, 在留期間および在留期間満了の日が記載されたものに限る。)を提出してください。

③ 出願にあたっての注意事項

- ア 願書記入事項および提出書類の不備なものは受理しません。
- イ 既納の検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ウ 出願後における志望学科・コースの変更は認めません。
- エ 障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)等のある者で、受験上および修学上の配慮を必要とする者は、出願に先立ち入学試験係までご相談ください。

(6) 出願期間

平成28年5月16日(月)～5月19日(木)書留速達郵便にて必着。

(注意) 受験票は、5月26日(木)に第1次選考(書類選考)結果通知に同封します。

(7) 選抜方法

① 第1次選考(書類選考)

推薦書および調査書により選考し、5月26日(木)に、可否に関わらず全員に速達郵送します。なお、掲示発表はしません。5月31日(火)までに届かない場合は、入学試験係(042-388-7014)まで電話で照会してください。

② 第2次選考(面接試験)

第1次選考に合格した者に対して6月6日(月)午前9時から工学部において実施します。詳細は第1次選考(書類選考)合格通知に同封します。

なお、学科(コース)によっては、当日面接の参考資料にするため、口述または筆記による簡単な基礎学力テスト*を行う場合があります。

※推薦入試における面接試験の参考資料としての「口述または筆記による簡単な基礎学力テスト」の内容について

学 科	コース	内 容
生 命 工 学 科	—	基礎的な英語読解力についての試験および現在高等専門学校で行っている卒業研究の内容についての質問等を面接時に行う。
応 用 分 子 化 学 科	—	書類選考の結果により、面接の参考として口述または筆記試験を行う場合がある。その内容としては物理化学、有機化学、無機・分析化学、英語について高等専門学校卒業程度。
有 機 材 料 化 学 科	—	
化 学 シ ス テ ム 工 学 科	—	
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	全コース	小論文を課すとともに、数学・物理・英語・機械工学の基礎的内容に関する口述試験を行う。出願範囲は高等専門学校卒業までに修得する程度。
電 気 電 子 工 学 科	全コース	電磁気学、電気電子回路、計算機基礎などの電気電子工学の基礎的内容について口述試験を行う。内容は高等専門学校卒業程度。
情 報 工 学 科	—	書類選考の結果により、問題解決の筋道を問う口述試験を行う場合がある。

③ 受験にあたっての注意事項

ア 受験者は、試験当日必ず本学が交付した受験票を持参してください。

なお、受験票は入学手続き時に必要となりますので受験後も紛失しないよう保管してください。

イ 本要項および本学が指示する諸事項を守らない場合は、受験できないことがあります。

ウ 本学構内および周辺で合否電報の受付をしていることがありますが、これらは本学とは一切関係がないので注意してください。

(8) 学力検査免除者（推薦入試内定者）の発表

平成 28 年 6 月 10 日（金）14：00 に本学東門掲示板に掲示するとともに、学力検査免除通知書を郵送します。なお、出身学校長あてにも別途、通知します。

（注意）電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

(9) 入学確約書の提出

学力検査免除者になった者は、入学確約書を 6 月 24 日（金）までに小金井地区事務部学生支援室入学試験係に提出してください。提出しない場合は、入学する意志がないものとみなします。

(10) 合格者発表

平成 28 年 7 月 15 日（金）14：00 に本学のホームページ（<http://www.tuat.ac.jp>）に掲載および本学東門掲示板に掲示します。合格者には合格通知書を別途郵送します。また、出身学校長あてにも別途、通知します。

（注意）電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

(11) 推薦入試に不合格となった場合

平成 28 年 7 月 7 日（木）から 8 日（金）に実施される学力検査を、一般受験者として受験できます。その場合、新たに検定料 30,000 円を本学所定の入学検定料払込用紙でゆうちょ銀行または郵便局に払い込みのうえ、受付局日附印を押した「振替払込受付証明書」を受け取り、「入学検定料納付確認票」の所定位置に貼り付けて 6 月 21 日（火）までに簡易書留（必着）で郵送してください。詳細については、別途通知します。

(12) 推薦入学後の履修および修業年限について

ア 学部 3 年次に編入されますが、編入学後各学科で定めるカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう単位を修得してください。

イ 平成 28 年度編入学生が編入の際に認定される上限単位数と卒業までに修得すべき単位数は、12 頁の表のとおりですが、平成 29 年度編入学生の場合には変更される場合があります。

ウ 学部 3 年次に編入学した者の修業年限は 2 年ですが、編入時に認定される単位数によっては 3 年次に編入学しても 2 年間で卒業できない場合があります。なお在籍年限は、4 年です。

4. 学力検査入試

(1) 募集人員

学 部	学 科 名	募 集 コ ー ス 名	募 集 人 員	
工 部	生 命 工 学 科	—	7人程度	
	応 用 分 子 化 学 科	—	3人程度	
	有 機 材 料 化 学 科	—	3人程度	
	化学システム工学科	—	3人程度	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	航空宇宙エネルギーコース	—	8人程度
		車両制御ロボットコース		
	電 気 電 子 工 学 科	システムエレクトロニクスコース	—	11人程度
電子情報通信工学コース				
情 報 工 学 科	—	5人程度		
計			40人程度	

(注意) 第2・第3志望できる学科は次のとおりとします。※

第1志望学科	第2志望できる学科	第3志望できる学科
生 命 工 学 科	な し	な し
応 用 分 子 化 学 科	有機材料化学科・化学システム工学科	有機材料化学科・化学システム工学科
有 機 材 料 化 学 科	応用分子化学科・化学システム工学科	応用分子化学科・化学システム工学科
化学システム工学科	応用分子化学科・有機材料化学科	応用分子化学科・有機材料化学科
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	な し	な し
電 気 電 子 工 学 科	情 報 工 学 科	な し
情 報 工 学 科	な し	な し

機械システム工学科，電気電子工学科にあつては，同学科の第2志望コースを認めます。

第2・第3志望のない場合，志願票の該当欄には×を記入してください。

※ 出願に際しては，後述20頁の「志願票等記入の注意事項および記入例」を参照してください。

(2) 出願資格者 次のいずれかに該当する者

- ① 高等専門学校を卒業した者または平成29年3月卒業見込の者
- ② 大学を卒業した者または平成29年3月卒業見込の者
- ③ 修業年限4年以上の大学に2年以上在学し（休学期間を除く。平成29年3月までに2年以上在学する者を含む。）48単位以上修得して（平成29年3月までに修得見込を含む。）退学した者（平成29年3月までに退学見込の者を含む。）
- ④ 短期大学を卒業した者または平成29年3月卒業見込の者
- ⑤ 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上でかつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上のものに限る。）を修了した者または平成29年3月修了見込の者（学校教育法第132条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- ⑥ その他本学が①から⑤のいずれかと同等と認めた者

(3) 出願対象学科

「高等専門学校を卒業した者または平成29年3月卒業見込の者」が出願する場合は、次の表による「出願できる出身学科」出身者に限ります。

学 科 名	募 集 コ ー ス	出願できる出身学科
生 命 工 学 科	—	特に指定しない。
応 用 分 子 化 学 科	—	特に指定しない。
有 機 材 料 化 学 科	—	特に指定しない。
化学システム工学科	—	特に指定しない。
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	航空宇宙エネルギーコース	機械工学科および関連学科
	車両制御ロボットコース	
電 気 電 子 工 学 科	システムエレクトロニクスコース	電気工学科，電子工学科，情報工学科およびこれらの関連学科
	電子情報通信工学コース	
情 報 工 学 科	—	特に指定しない。

(4) 出願手続

下記の出願書類を書留速達で郵送してください。

① 提出先

東京農工大学小金井地区事務部学生支援室入学試験係
〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

② 出願書類

入学志願票	(本学所定様式)【注】外国人志願者は、志願票の右下欄に記載されている、国費奨学金支給期間延長申請予定の有無について○印でご回答ください。
写真票	(本学所定様式)無帽、上半身、たて40mm、よこ30mmで出願日前3か月以内に撮影したものを貼り付けてください。
受験票	(本学所定様式)
成績証明書等 ※調査書、 成績証明書 は要封緘	<p>出願資格①の者…調査書(本学所定様式) ※必ず成績証明書を貼り付けてください。 【注】外国人志願者は、調査書に記載されている、国費奨学金支給期間延長申請予定の有無について○印でご回答ください。</p> <p>出願資格②又は④の者 成績証明書および卒業証明書または卒業見込証明書(出身学校発行のもの)</p> <p>出願資格③の者 【在学中の者】…成績証明書および在学証明書(出身学校発行のもの) ※出願時において48単位以上修得していない者については、平成29年3月までに48単位以上修得する見込であることが分かるように、現在履修中の科目および単位数が明確な書類を既修得科目の成績証明書とあわせて提出してください。(例:大学発行の単位修得見込証明書、履修証明書、履修科目証明書等) 【退学した者】…退学時までの成績証明書および在籍期間・退学期日が明記された書類(出身学校発行のもの)</p> <p>出願資格⑤の者…大学入学資格を有することを証明できる書類(高等学校卒業証明書等)、当該専修学校の成績証明書および修了見込証明書(出身学校発行のもの)</p> <p>出願資格⑥の者…入学試験係へ事前に問い合わせてください。 (tel:042-388-7014)</p>
入学検定料納付確認票	(本学所定様式)振替払込受付証明書を貼り付けてください。
検定料 (本学所定の 入学検定料 払込用紙に より払込)	<p>30,000円 本学所定の入学検定料払込用紙でゆうちょ銀行または郵便局に払込みのうえ、受付局日附印を押した「振替払込受付証明書」を受け取り、「入学検定料納付確認票」の所定位置に貼り付けてください。なお、「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。改めて本学から受領証書は発行いたしませんので、大切に保管してください。</p> <p>※「振替払込受付証明書」の受付局日附印の押印で入学検定料納付を確認しますので入学検定料の納付はゆうちょ銀行または郵便局の受付窓口での払込に限ります。(ATMは使用不可。)</p> <p>【注】出願時点で、奨学金支給期間の延長申請を予定している、文部科学省国費外国人留学生は、延長が許可されましたら、検定料を返還しますので、出願の際は検定料の納付をお願いいたします。許可されましたら入学試験係(tel:042-388-7014)までご連絡ください。</p>
返信用封筒	(本学所定様式)郵便番号・住所・氏名を記入し、郵便切手362円(速達分)を貼り付けてください。
あて名票	(本学所定様式)郵便番号・住所・氏名を記入してください。
その他	外国人志願者にあつては、住民票の写し(国籍等、在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限る。)を提出してください。

③ 出願にあたっての注意事項

- ア 願書記入事項および提出書類の不備なものは受理しません。
- イ 既納の検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ウ 出願後における志望学科・コースの変更は認めません。
- エ 平成29年3月までに所定の要件を満たす見込で受験し合格した者が、所定の要件を満たすことができなかつた場合は、入学を許可しません。
- オ 障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)等のある者で、受験上および修学上の配慮を必要とする者は、出願に先立ち入学試験係までご相談ください。

(5) 出願期間

平成28年6月15日(水)～6月21日(火) 書留速達郵便にて必着。

(6) 選抜方法

学力検査, 面接試験(11頁(7)の表参照), 成績証明書等を総合して判定します。

① 学力検査科目

学 科	共 通 科 目			専門科目 (筆記試験)	専門科目 (口述試験)
	自然科学		外国語		
	数学	理科※	英語		
生 命 工 学 科	○	物理・化学・生物から2科目選択	○		○
応 用 分 子 化 学 科	○	物理・化学必修	○		○
有 機 材 料 化 学 科	○	物理・化学必修	○		○
化学システム工学科	○	物理・化学必修	○		○
機械システム工学科	○	物理・化学必修	○	○	
電 気 電 子 工 学 科	○	物理必修	○	○	
情 報 工 学 科	○	物理必修	○	○	

※ 理科については学科の指定のとおり受験してください。指定された科目以外を受験した場合は無効となります。

② 学力検査科目(共通科目)の出題範囲

- ア 数 学 微分積分学, 線形代数学, 常微分方程式
- イ 物 理 力学, 熱力学, 波動, 電磁気学
- ウ 化 学 無機・分析化学, 物理化学, 有機化学
- エ 生 物 生化学
- オ 英 語 大学教養程度

③ 学力検査科目(専門科目)の出題範囲

- 生 命 工 学 科: 無機化学, 物理化学, 有機化学, 生物化学
- 応 用 分 子 化 学 科: 無機・分析化学, 物理化学, 有機化学
- 有 機 材 料 化 学 科: 無機・分析化学, 物理化学, 有機化学
- 化学システム工学科: 無機・分析化学, 物理化学, 有機化学
- 機械システム工学科: 機械力学, 流体力学, 熱力学, 材料力学
- 電 気 電 子 工 学 科: 電磁気学, 電気電子回路, 計算機基礎
- 情 報 工 学 科: コンピュータの機能, ソフトウェア・ハードウェア,
数理・情報工学

④ 配点（学力検査科目）

学 科	英 語	数 学 注①	理 科 注②	専門科目 (筆記または口述)	計
生 命 工 学 科	200	100	200	200	700
応 用 分 子 化 学 科	200	200	200	200	800
有 機 材 料 化 学 科	200	200	200	200	800
化学システム工学科	200	200	200	200	800
機械システム工学科	200	200	300	200	900
電 気 電 子 工 学 科	200	200	100	200	700
情 報 工 学 科	200	200	100	200	700

注① 生命工学科は数学を100点満点で配点し、他学科は200点満点で配点します。

② 電気電子工学科、情報工学科の理科は1科目、他学科は2科目。
機械システム工学科の理科の配点は物理200点、化学100点。

⑤ 受験にあたっての注意事項

ア 受験者は、試験当日必ず本学から交付した受験票を持参してください。

なお、受験票は入学手続き時に必要となりますので受験後も紛失しないよう保管してください。

イ 本要項および本学から指示する諸事項を守らない場合は、受験できないことがあります。

ウ 本学構内および周辺で合否電報の受け付けをしていることがありますが、これらは本学とは一切関係がないので注意してください。

(7) 試験日時

学 科	平成 28 年 7 月 7 日 (木)			平成 28 年 7 月 8 日 (金)	
生 命 工 学 科	数 学 8:45～10:15	英 語 11:00～12:30	理 科 13:45～16:15 注①	専門科目（口述試験） 9:30～	
応 用 分 子 化 学 科					
有 機 材 料 化 学 科			理 科 13:45～15:00	専門科目 (筆記試験)	面接試験 13:30～
化学システム工学科					
機 械 シ ス テ ム 工 学 科					
電 気 電 子 工 学 科					
情 報 工 学 科					

注① 150分内で指定された2科目を解答します。

(8) 試験場所

工学部において実施します。詳細は、受験票送付時に同封します。

6月28日（火）までに受験票および試験の詳細が届かない場合は、入学試験係（042-388-7014）まで電話で照会してください。

(9) 合格者発表

平成 28 年 7 月 15 日（金）14:00 に本学のホームページ（<http://www.tuat.ac.jp>）に掲載および本学東門掲示板に掲示します。合格者には合格通知書を別途郵送します。

（注意）電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

(10) 編入学後の履修および修業年限について

① 高等専門学校を卒業した者または平成 29 年 3 月卒業見込の者

ア 学部 3 年次に編入されますが、編入学後各学科で定めるカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう単位を修得してください。

イ 平成 28 年度編入学生が編入の際に認定される上限単位数と卒業までに修得すべき単位数は、次表のとおりですが、平成 29 年度編入学生の場合には変更される場合があります。

ウ 学部 3 年次に編入学した者の修業年限は 2 年ですが、編入時に認定される単位数によっては 3 年次に編入学しても 2 年間で卒業できない場合があります。なお、在籍年限は、4 年です。

◆編入時に認定される上限単位数（参考：平成 28 年度編入生の場合）

学 科 名	全学共通教育科目 (自然科学系基礎科目を除く)				全学共通教育科目(自然科学系基礎科目)・専門基礎科目・専門科目	
	大学導入 科 目	共生人文 社会科学	リテラシー 科 目	スポーツ健康 科学科目	自然科学系基礎科 目・専門基礎科目	専 門 科 目
生 命 工 学 科	2	6	9	1	72単位	
応 用 分 子 化 学 科	2	8	8	1	54単位	
有 機 材 料 化 学 科	2	8	10	1	62単位	
化学システム工学科	2	8	8	1	57単位	
機械システム工学科	4	6	8	1	57単位	
電気電子工学科	2	6	8	1	58単位	
情 報 工 学 科	2	6	8	1	57単位	

※各学科で認定単位数が異なるので、入学後確認してください。

◆卒業までに修得すべき単位数（参考：平成 28 年度編入生の場合）

学 科 名	全学共通教育科目 (自然科学系基礎科目を除く)					小 計 a	全学共通教育科目(自然科学系基礎科目)・専門基礎科目・専門科目		小 計 b	自由選 択単位 c	合 計 a+b+c
	大学導入 科 目	持続可能な地球の ための 科学技術	共生人文 社会科学	リテラシー 科 目	スポーツ健康 科学科目		自然科学系基 礎科目・専門 基礎科目	専 門 科 目			
生 命 工 学 科	2	0	6	8	1	17	52	50	102	5以上	124以上
応 用 分 子 化 学 科	2	0	6	8	1	17	42	46	88	19以上	124以上
有 機 材 料 化 学 科	2	0	6	8	1	17	98		98	9以上	124以上
化学システム工学科	2	0	6	8	1	17	44	45	89	18以上	124以上
機械システム工学科	4	0	8	8	1	21	45	44	89	14以上	124以上
電気電子工学科	2	0	6	8	1	17	54	34	88	19以上	124以上
情 報 工 学 科	2	0	6	8	1	17	24	65	89	18以上	124以上

② ①以外の者

ア 学部 3 年次に編入され、大学等での修得科目（単位）に応じて各学科（コース）が定めた単位認定表により認定科目（単位）が決定されます。

なお、同学科（コース）が定めたカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう単位を修得してください。

イ 学部 3 年次に編入学した者の修業年限は 2 年ですが、編入時に認定される単位数によっては 3 年次に編入学しても 2 年間で卒業できない場合があります。なお、在籍年限は、4 年です。

(注意) 工学部においては、夜間には授業を開講していません。

5. 社会人特別入試

(1) 募集人員

学 部	学 科 名	募 集 コ ー ス 名	募集人員	
工 学 部	生 命 工 学 科	—	各学科 若干名	
	応 用 分 子 化 学 科	—		
	有 機 材 料 化 学 科	—		
	化 学 シ ス テ ム 工 学 科	—		
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	航 空 宇 宙 エ ネ ル ギ ー コ ー ス		
		車 両 制 御 ロ ボ ッ ト コ ー ス		
	電 気 電 子 工 学 科	シ ス テ ム エ レ ク ト ロ ニ ク ス コ ー ス		
		電 子 情 報 通 信 工 学 コ ー ス		
	情 報 工 学 科	—		
	計			

(注意) 機械システム工学科，電気電子工学科にあつては，同学科の第2志望コースを認めます。
(志望学科については，全学科第1志望以外認めません。)

※ 出願に際しては，後述20頁の「志願票等記入の注意事項および記入例」を参照してください。

(2) 出願資格者

入学時（平成29年4月1日）において企業等に正規の職員またはそれに準ずる者として通算1年以上（満1年を含む）勤務した経験のある者または勤務中の者で，出願時において次のいずれかに該当する者

- ① 高等専門学校を卒業した者または平成29年3月卒業見込の者
- ② 大学を卒業した者または平成29年3月卒業見込の者
- ③ 修業年限4年以上の大学に2年以上在学し（休学期間を除く。平成29年3月までに2年以上在学する者を含む。）48単位以上修得して（平成29年3月までに修得見込を含む。）退学した者（平成29年3月までに退学見込の者を含む。）
- ④ 短期大学を卒業した者または平成29年3月卒業見込の者
- ⑤ 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上でかつ，課程の修了に必要な総授業時間数

が1700時間以上のものに限る。)を修了した者または平成29年3月修了見込の者(学校教育法第132条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

⑥ その他本学が①から⑤のいずれかと同等と認めた者

※「正規の職員に準ずる者」として出願をお考えの場合は、事前に入学試験係までお問い合わせください。

なお、入学時において現職のまま入学しようとする者は、入学手続きの際に企業等の所属長の入学承諾書(本学所定様式:合格者に交付する)を提出してください。

また、入学時までには退職する場合は、退職証明書(様式随意)を提出してください。

詳細については入学手続書類送付時に通知します。

(3) 出願手続

下記の出願書類を書留速達で郵送してください。

① 提出先

東京農工大学小金井地区事務部学生支援室入学試験係

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

② 出願書類

入学志願票	(本学所定様式)【注】外国人志願者は、志願票の右下欄に記載されている、国費奨学金支給期間延長申請予定の有無について○印でご回答下さい。
写真票	(本学所定様式)無帽,上半身,たて40mm,よこ30mmで出願日前3か月以内に撮影したものを貼り付けてください。
受験票	(本学所定様式)
成績証明書等 ※成績証明書は要封緘	<p>出願資格①・②または④の者 …成績証明書および卒業証明書または卒業見込証明書(出身学校発行のもの)</p> <p>出願資格③の者 【在学中の者】…成績証明書および在学証明書(出身学校発行のもの) ※出願時において48単位以上修得していない者については平成29年3月までに48単位以上修得する見込であることが分かるように、現在履修中の科目および単位数が明確な書類を既修得科目の成績証明書とあわせて提出してください。(例:大学発行の単位修得見込証明書、履修証明書、履修科目証明書等) 【退学した者】…退学時までの成績証明書および在籍期間・退学期日が明記された書類(出身学校発行のもの)</p> <p>出願資格⑤の者…大学入学資格を有することを証明できる書類(高等学校卒業証明書等),当該専修学校の成績証明書および修了見込証明書(出身学校発行のもの)</p> <p>出願資格⑥の者…入学試験係へ事前に問い合わせてください。 (tel:042-388-7014)</p>
志願理由書	(本学所定様式)
入学検定料納付確認票	(本学所定様式)振替払込受付証明書を貼り付けてください。

検 定 料	<p>30,000円</p> <p>本学所定の入学検定料払込用紙でゆうちょ銀行または郵便局に払込みのうえ、受付局日附印を押した「振替払込受付証明書」を受け取り、「入学検定料納付確認票」の所定位置に貼り付けてください。なお、「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。改めて本学から受領証書は発行いたしませんので、大切に保管してください。</p> <p>※「振替払込受付証明書」の受付局日附印の押印で入学検定料納付を確認しますので、入学検定料の納付はゆうちょ銀行または郵便局の受付窓口での払込に限ります。(ATMは使用不可。)</p> <p>【注】出願時点で、奨学金支給期間の延長申請を予定している、文部科学省国費外国人留学生は、延長が許可されましたら、検定料を返還しますので、出願の際は検定料の納付をお願いいたします。許可されましたら入学試験係 (tel: 042-388-7014) までご連絡ください。</p>
(本学所定の入学検定料払込用紙により払込)	
返信用封筒	(本学所定様式) 郵便番号・住所・氏名を記入し、郵便切手 362円 (速達分) を貼り付けてください。
あて名票	(本学所定様式) 郵便番号・住所・氏名を記入してください。
業績報告書	(様式随意) 在職中に本人が行った業績(業務)内容の概要書: 在職者および在職経験者は、職務の内容にかかわらず本人が作成し提出してください。
在籍証明書等	(様式随意) 原則として在職した企業等が発行した、在職期間を明記したもの。在職者は在籍証明書を、在職経験者は過去の在職についての証明書を提出してください。
その他	外国人志願者にあつては、住民票の写し(国籍等、在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限る。)を提出してください。

③ 出願にあたっての注意事項

- ア 願書記入事項および提出書類の不備なものは受理しません。
- イ 既納の検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ウ 出願後における志望学科・コースの変更は認めません。
- エ 平成29年3月までに所定の要件を満たす見込で受験し合格した者が、所定の要件を満たすことができなかつた場合は、入学を許可しません。
- オ 障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)等のある者で、受験上および修学上の配慮を必要とする者は、出願に先立ち入学試験係までご相談ください。

(4) 出願期間

平成28年6月15日(水)～6月21日(火)書留速達郵便にて必着。

(5) 選抜方法

学力検査、面接、成績証明書等を総合して判定します。

① 学力検査

次のアとイの試験を課します。

ア 英語の筆記試験

イ 専門の基礎的内容並びに業績報告書についての口述試験

② 受験にあたっての注意事項

ア 受験者は、試験当日必ず本学から交付した受験票を持参してください。

なお、受験票は入学手続き時に必要となりますので受験後も紛失しないよう保管してください。

イ 本要項および本学から指示する諸事項を守らない場合は、受験できないことがあります。

ウ 本学構内および周辺で合否電報の受付をしていることがありますが、これらは本学とは一切関係がないので注意してください。

(6) 試験日時

期 日	時 間	
平成 28 年 7 月 7 日 (木)	11:00から12:30	13:45から
	英 語	口述試験および面接

(7) 試験場所

工学部において実施します。詳細は、受験票送付時に同封します。

(8) 合格者発表

平成 28 年 7 月 15 日(金) 14:00 に本学のホームページ (<http://www.tuat.ac.jp>) に掲載および本学東門掲示板に掲示します。合格者には合格通知書を別途郵送します。

(注意) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

(9) 編入学後の履修および修業年限について

ア 学部 3 年次に編入され、大学等での修得科目 (単位) に応じて各学科 (コース) が定めた単位認定表により認定科目 (単位) が決定されます。

イ 平成 28 年度編入学生が編入の際に認定される上限単位数と卒業までに修得すべき単位数は12頁の表のとおりですが、平成 29 年度編入学生の場合には変更される場合があります。

なお、同学科 (コース) が定めたカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう単位を修得してください。

ウ 学部 3 年次に編入学した者の修業年限は 2 年ですが、編入時に認定される単位数によっては 3 年次に編入学しても 2 年間で卒業できない場合があります。なお在籍年限は、4 年です。

(注意) 工学部においては、夜間には授業を開講していません。

6. 入学手続

合格者は、次のとおり持参により入学手続を行ってください。詳細は平成29年2月上旬頃送付します。

(1) 手続期日

平成29年3月中旬（本学部が指定した日）

(2) 手続場所

〔手続場所〕 東京農工大学工学部 東京都小金井市中町2-24-16

(3) 納付金の納入

ア 入学料	282,000 円 [※]
イ 授業料	267,900 円 [※] （平成29年度前期分）
	（年額 535,800 円） [※]

※（注意） 入学料は平成27年度現在のものであり、入学手続日までに変更になる場合があります。
授業料の納入については、入学後の納入となります。
また、在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

7. 試験についての照会先

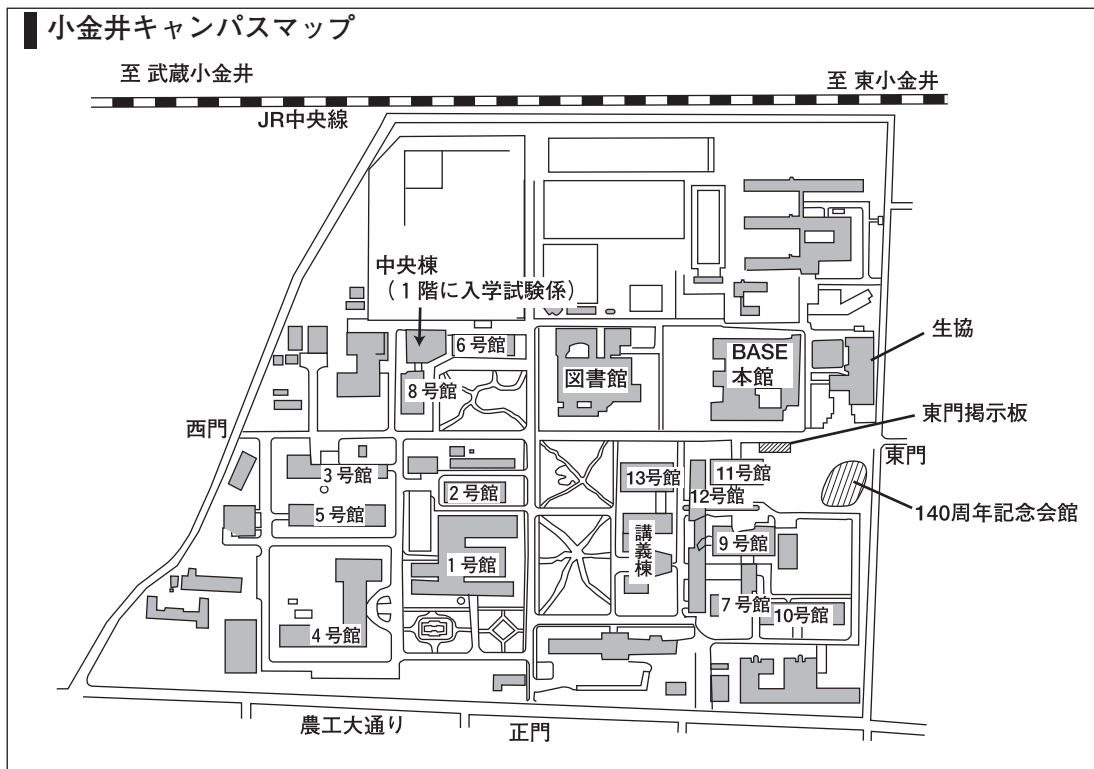
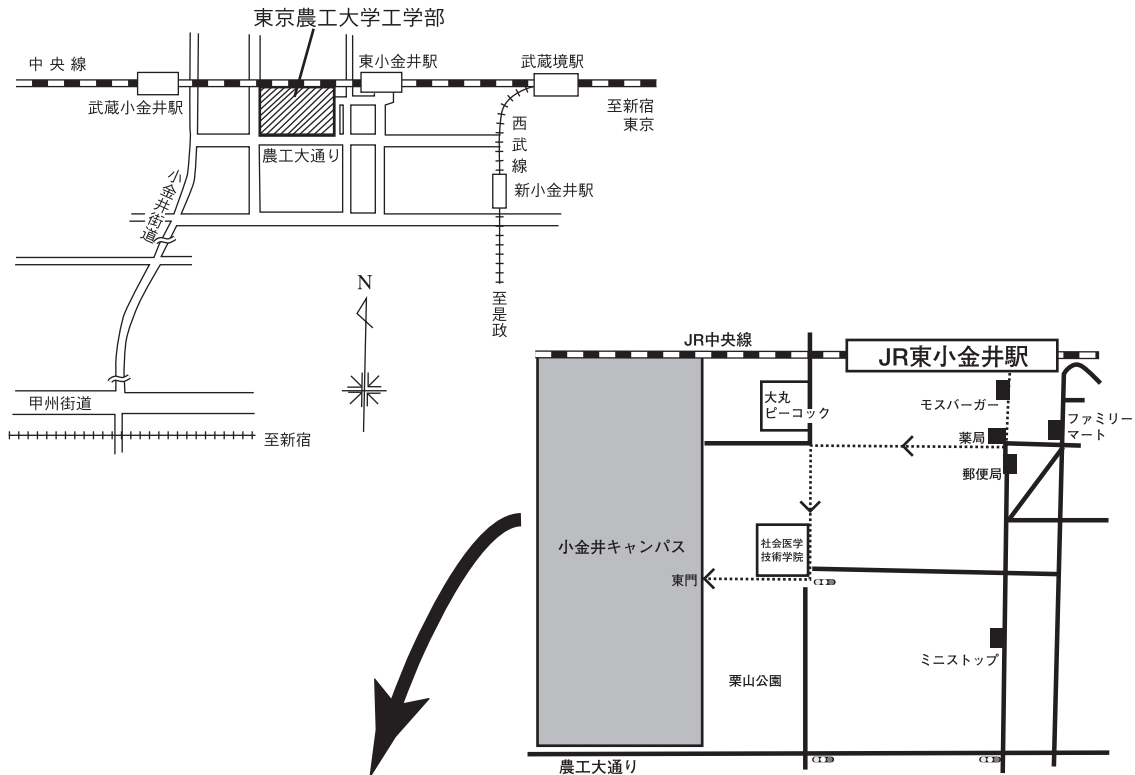
東京農工大学小金井地区事務部学生支援室入学試験係
TEL 042-388-7014
〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

8. 所在地

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

東京農工大学工学部案内図

◎交通機関 工学部 JR中央線 東小金井駅（新宿から約25分）から徒歩約8分
 武蔵小金井駅（立川から約13分）から徒歩約20分



志願票等記入の注意事項および記入例

1. 学力検査入試において、第2・第3志望できる学科は次のとおりとします。

(推薦入試・社会人特別入試においては、学科の第2・第3志望はできません。)

第1志望学科	第2志望できる学科	第3志望できる学科
生 命 工 学 科	な し	な し
応 用 分 子 化 学 科	有機材料化学科・化学システム工学科	有機材料化学科・化学システム工学科
有 機 材 料 化 学 科	応用分子化学科・化学システム工学科	応用分子化学科・化学システム工学科
化 学 シ ス テ ム 工 学 科	応用分子化学科・有機材料化学科	応用分子化学科・有機材料化学科
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	な し	な し
電 気 電 子 工 学 科	情 報 工 学 科	な し
情 報 工 学 科	な し	な し

機械システム工学科，電気電子工学科にあつては，同学科の第2志望コースを認めます。

2. 第2志望・第3志望ができない場合および希望しない場合は、所定の欄に×印を付けてください。

3. 志望学科・志望コース欄の第2志望・第3志望については、募集要項に示した内容と異なる学科・コース名を記入した場合（第2志望・第3志望できない場合を含む。）は希望しないものとみなすので記入にあたっては十分注意してください。

※上記 1. を参照してください。

【記入例1】

第1志望学科 応用分子化 学科	志望 コース	第1志望	×
		第2志望	×
第2志望学科 有機材料化 学科	志望 コース	第1志望	×
		第2志望	×
第3志望学科 化学システム工 学科			

【記入例2】

第1志望学科 電気電子工 学科	志望 コース	第1志望	電子情報通信工学
		第2志望	システムエレクトロニクス
第2志望学科 情報工 学科	志望 コース	第1志望	×
		第2志望	×
第3志望学科 学科			

平成 29 年度
東京農工大学工学部第 3 年次編入学試験
受 験 票

(注 意)

1. 本票は受験の際必ず携帯し、また、学力検査の際は本票を机上に置くこと。
2. 本票は、受験後も大切に保管しておくこと。
3. ※印欄には記入しないこと。
4. 志望学科・志望コースの第 2・3 志望については、募集要項に示した内容と異なる学科・コース名を記入した場合（第 2・3 志望できない場合を含む。）は志望しないものとみなすので記入にあたっては十分注意すること。
5. 生命工学科の志願者は、理科選択科目欄の受験する 2 科目を○で囲むこと（学力検査入試受験者のみ）。
6. 志望コースがない学科を記入する場合、志望コース欄には×を記入すること。

受 験 番 号	ふりがな	
※	氏 名	
第 1 志望学科	学科 志望コース	第 1 志望
		第 2 志望
第 2 志望学科 *学力検査入試のみ	学科 志望コース	第 1 志望
		第 2 志望
第 3 志望学科 *学力検査入試のみ	学科	
理 科 選 択 科 目 (生命工学科の志願者のみ)		物 理 ・ 化 学 ・ 生 物

(※はなすなないり)

平成 29 年度
東京農工大学工学部第 3 年次編入学試験
写 真 票

写 真 票

<p>写真貼付欄</p> <p>1. 写真は、無帽上半身 (たて4cm×よこ3cm) 出願日前3か月 以内に撮影したものであること。</p> <p>2. 全面にのり付けすること。</p>

(※はなすなないり)

出 願 の 選 択 番 号	推薦入学入試・学力検査入試・社会人特別入試	都 道 府 県
※	ふりがな	本 籍 地
	氏 名	男 女
第 1 志望学科	平成 昭和	年 月 日 生
	志望コース	第 1 志望
	学科	第 2 志望
第 2 志望学科 *学力検査入試のみ	志望コース	第 1 志望
	学科	第 2 志望
第 3 志望学科 *学力検査入試のみ	学科	
出 願 資 格	国・公・私立 大学・短期大学・ 高等専門学校・ その他()	学 部
現 住 所	〒 () () () 電話(自宅・借間) (携帯) (父母の連絡先)	学 科
学 歴	平成 昭和 年 月 年 月 日 卒業・卒業見込・中退・中退見込 平成 昭和 年 月 年 月 日 入学・編入学・転入学 その他()	
職 歴	平成 昭和 年 月 年 月 入社～(会社名) 平成 昭和 年 月 年 月 入社～(会社名) 平成 昭和 年 月 年 月 入社～(会社名)	
受 験 票 の 受 信 場 所	〒 () () () 電話 () () ()	
理科選択科目 (生命工学科のみ)	物 理 ・ 化 学 ・ 生 物	平 成 29 年 度 国 費 延 長 申 請 予 定

1. ※印欄には記入しないこと。
2. 出願の選択欄には該当の文字を○でかこみ、不要の文字は消すこと。
3. 志望学科・志望コース欄の第 2・3 志望については、募集要項に示した内容と異なる学科・コース名を記入した場合（第 2・3 志望できない場合を含む。）は志望しないものとみなすので記入にあたっては十分注意すること。
4. 生命工学科の志願者は、理科選択科目欄の受験する 2 科目を○で囲むこと（学力検査入試受験者のみ）。

第 3 年 次 編 入 学 推 薦 書

平成 年 月 日

東京農工大学工学部長 殿

高等専門学校名
校 長 名

印

下記学生を貴大学第3年次編入学推薦入試志願者として、一切の責任を持ち推薦いたします。

記

ふりがな	氏名	性別	男・女	生年月日	平成 昭和	年	月	日生
	出身 高専名	国立 公立 私立	高等専門学校	出身 学科名				学科
推 薦 理 由								

学	1. 学 業 成 績													
					学 年		席		次					
					1 学 年		人 中		番	%				
					2 学 年		人 中		番	%				
					3 学 年		人 中		番	%				
				4 学 年		人 中		番	%					
				平 均					%					
注 調査書席次欄と合致したものであること。														
2. 授 業 中 の 状 況														
3. そ の 他														
業														
人														
物														
課外活動・クラス役員等														
出欠状況	区分	学年				1	2	3	4	区分	学年			
	授 業 日 数									欠 席 日 数				
	出席停止・忌引き等の日数									出 席 日 数				
	留 学 中 の 授 業 日 数					備 考								
	出席しなければならない日数													
健														
康														
そ														
の														
他														

調 査 書

受験番号	※										
ふりがな											
氏名	男	出身校	国立	高等専門学校			年 月 日	本 籍	都道府県	現住所	都 道 市
生年月日	女	公立	私立	学科	年 月 日	入学・編入学・転入学	府 県 区				
	平成 昭和	年 月 日生					卒業・卒業見込				町 丁目
											村 番号

学 習 成 績 【該当する項目が記載された成績証明書等がある場合は、必ずそれを貼り付けて提出して下さい。】

授業科目	学 年	総単位数	学 年					授業科目	学 年	総単位数	学 年				
			1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年				1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年
一 般 教 育 科 目	人 文 ・ 社 会							専 門 科 目							
	保 健 ・ 体 育														
	芸 術														
外 国 語															
合 計								卒 業 研 究							
専 門 科 目						合 計									
						総 計									

在 学 中 の 状 況	※ 外国人志願者の場合 国費支給延長申請の予定 有 ・ 無 (○をつけて下さい)		学年	席 次	
			1 年	人中	番
			2 年	人中	番
			3 年	人中	番
			4 年	人中	番
			5 年	人中	番
			評価基準	優 (A)	点 ~ 点
			良 (B)	点 ~ 点	
			可 (C)	点 ~ 点	
			※ 成績欄には該当する評価基準区分を学科欄には所属学科をそれぞれ記入する。		

(注) 卒業見込者については最終学年で履修する科目を成績欄に◎印で明示するとともに、科目ごとの総単位数を記入すること。

本書の記載事項に誤りのないことを証明します。

平成 年 月 日

記載責任者名

Ⓜ

学校所在地

高等専門学校名

学 校 長

Ⓜ

入学検定料納付確認票

志望学科	
受験番号	※

「振替払込受付証明書」を
貼り付けてください。

(注意)

1. ゆうちょ銀行または郵便局の受付局日附印がないものは無効です。
2. 振替払込受付証明書の所定欄に志願者住所・氏名を必ず記入してください。
3. 振替払込請求書兼受領証は大切に保管し、ここに添付してはいけません。
4. 納入された入学検定料は原則返還しません。

志望学科は本人が記入すること

入学検定料払込用紙

・本払込用紙に、志願者（ご依頼人）の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、出願期限までにゆうちょ銀行または郵便局窓口でお支払ください。

〈注意〉 推薦入試の出願期限……………平成28年 5月19日

学力検査入試・社会人特別入試の出願期限……………平成28年 6月21日

・右端の「振替払込受付証明書」を、入学検定料納付確認票に貼り付けて提出してください。（受付局日附印のないものは無効）

・「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。改めて本学から受領証書は発行いたしませんので、大切に保管してください。

切 り 取 っ て ご 使 用 く だ さ い

払 込 取 扱 票

00	口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
0	0	1	2	0	8	4	6	3	4	2	6	※			3	0	0	0	0	
加入者名	国立大学法人 東京農工大学										料金	備考								
※	平成29年度 入学 検 定 料 東京農工大学 編入学試験																			
通信欄	必ず窓口で払い込み、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。																			
※	志願者住所（郵便番号）										日	附	印	様						
※	志願者氏名（フリガナ）																			
※	（電話番号 - -）										様									
裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号東第44194号）																				
これより下部には何も記入しないでください。																				

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	2	0	8	4	6	3	4	2	6				
加入者名	国立大学法人 東京農工大学															
金額	千	百	十	万	千	百	十	円	※			3	0	0	0	0
※	志願者氏名（フリガナ）															
※	ご依頼人															
料	（消費税込み）															
金	日 附 印															
備	円															
考	様															

記載事項を訂正した場合はその箇所に訂正印を押してください
切り取らないでお出しください

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込受付証明書(お客さま用) 〔大学提出用〕

(ご依頼人⇨郵便局・ゆうちょ銀行⇨ご依頼人)

口座記号番号	00120-8-463426															
加入者名	国立大学法人 東京農工大学															
金額	千	百	十	万	千	百	十	円	※			3	0	0	0	0
※	（志願者住所氏名）															
ご依頼人住所氏名	様															
平成29年度 入学 検 定 料 編 入 学 試 験										日 附 印						
受付局日附印のないものは無効										様						
(承認番号東証第1247号)																

切り取らないでお出しください

① 入学検定料は、必ずこの払込用紙を使用して郵便局・ゆうちょ銀行で払い込んでください。

② 払込の際に日附印を押印した「振替払込受付証明書」を受け取り、入学検定料納付確認票の指定欄に貼り付けて提出してください。

(注意)

志願者住所、氏名欄に記入漏れがないか、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が漏れていないか、確認の上提出してください。

(記入漏れ、日附印のないものは無効となります。)

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行または郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行または郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。

・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
3万円以上
貼付

印

この場所には、何も記載しないでください。

あ て 名 票

あ て 名 票

第一志望学科	
第一志望コース	

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

住所

殿

受験番号	※ <input type="text"/>
------	------------------------

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

住所

殿

受験番号	※ <input type="text"/>
------	------------------------

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

住所

殿

受験番号	※ <input type="text"/>
------	------------------------

- ・合格通知を受け取る住所・氏名（志願者氏名）および志望学科・志望コースを記入すること。
- ・出願後住所を変更した場合は、すみやかに届け出ること。
- ・※印欄は記入しないこと。

ここからきりはなして提出すること